

会務

次期会長候補者の選出について

日本油化学会では、活発でより開かれた学会を目指すため、次期会長候補者を会員による直接選挙で選出することにし、平成15年度から実施しております。次期会長候補者は、会長就任の前年を副会長として務めることが内規で定められているため、島崎会長の後任の会長は平成22年度に理事・副会長に選任されることとなります。平成22年度を理事・副会長として務めていただいた後、総会および理事会を経て、平成23年度会長に選任されることとなります。

注記：ここに述べる次期会長候補の選出とは、役員等候補者推薦委員会が総会および理事会に推薦する会長候補者を会員による直接選挙により選出することです。日本油化学会会長の選任方法は定款に定められており、まず総会において代議員により理事が選出され、ついで理事会において理事の互選により会長が選任されます。

次期会長候補者の募集

次期会長の立候補者および候補者推薦の募集は、会誌「オレオサイエンス」およびホームページにて公募します。

資格：候補者の資格は、普通会员とする。

立候補：普通会员が立候補する場合は、普通会员3名の推薦人が必要です。

推薦：普通会员が候補者を推薦する場合は、代表推薦人のほかに2名の推薦人が必要です。

選挙方法

立候補者および推薦された候補者については、「オレオサイエンス11月号」に掲載します。会員（普通会员および学生会員）は、10月に配付される投票用紙に記載された候補者の中から次期会長にふさわしい候補者1名を選び、日本油化学会役員等候補者推薦委員会宛に、11月末日までに郵送していただきます（代議員の投票と同時）。開票は、12月上旬に、役員等候補者推薦委員会委員、総務委員会委員および監事により行い、最高得票数を得た者が次期会長候補者になります。得票数が同数の場合は会員在籍期間の長い者を次期会長候補者とします。次点者は、最高得票者がその役を遂行出来なくなった時に次期会長候補者となります。最高得票者と次点の候補者の氏名は、「オレオサイエンス3月号」で会員にお知らせいたします。